



JAMS NEWS

日本経営システム学会

<http://www.jams-web.jp/>

日本経営システム学会 第 69 回全国研究発表大会のご案内

会員の皆様には、時下益々ご清祥こととお慶び申し上げます。さて、日本経営システム学会第 69 回全国研究発表大会が 2022 年 10 月 1 日（土）、2 日（日）に開催されます。多くの会員の皆さまのご参加およびご発表を心よりお待ちしております。

記

開催日：2022 年 10 月 1 日（土）、2 日（日）

主催校：釧路公立大学 〒085-8585 北海道釧路市芦野 4 丁目 1-1

交通アクセス <https://www.kushiro-pu.ac.jp/aboutus/overview/access.html>

連絡先：実行委員長 釧路公立大学 曾我 寛人 E-mail: soga@kpu.kushiro-pu.ac.jp

主催：日本経営システム学会

統一論題：「世界情勢と経営システム」

基調講演：「貿易投資相談事例にみる、コロナ禍・ウクライナ侵攻下の日本企業の国際ビジネス動向」

日本貿易振興機構(JETRO) 石川 雅啓 氏

参加費：会員 5,000 円、学生会員 3,000 円、協賛学会員・同学生会員はそれぞれ会員・学生会員と同額、非会員 6,000 円、非会員学生 4,000 円（当日支払は各 1,000 円高）

※参加人数の事前把握と受付混雑緩和のため、事前の参加申込へのご協力をお願いいたします。

懇親会費：開催いたしません。

昼食：最寄りのコンビニエンスストア、飲食店などご利用ください。

宿泊：釧路駅周辺にはホテルが多数ございますので、各自でご手配下さい。

参加申込：本 JAMS NEWS に同封の振込用紙または HP の振込方法を参考に 9 月 26 日（月）までに上記金額をお振込み下さい。期限後に振込みされた方は、振込控えまたはコピーをお持ち下さい。

■会場設備について

全ての発表会場に PC(Windows, MS-Office)とプロジェクタが設置されています。原則として会場の設備をご利用下さい。データは USB メモリーに入れてお持ち下さい。ノート PC をお持ち込みいただくことも可能ですが、教室ごとに接続ケーブル(VGA、HDMD)が異なり、変換アダプタの数にも限りがありますので、極力備え付けの PC をお使いいただきますよう、よろしくお願いいたします。

■大会会場へのアクセス

- 釧路空港から JR 釧路駅まで（バス）：阿寒バスの釧路空港連絡バスで「釧路駅前」（駅前バスターミナル）まで、所要時間 45 分、料金 950 円
- JR 釧路駅から釧路公立大学（バス）：
 - くしろバス美原線 65 番で、「釧路公立大学前」まで、所要時間：16 分、料金 340 円
 - くしろバス文苑公住線 12 番で、「釧路公立大学前」まで、所要時間：16 から 19 分、料金 340 円
 - くしろバス美原線 63 番で、「芦野公園前」まで、所要時間：18 分、料金 310 円
- JR 釧路駅から釧路公立大学（タクシー）：所要時間：15 分、料金 1,500 円程度

■研究発表に関する細則について

当学会では、研究発表大会をスムーズに運営するために、口頭発表に関して「研究発表細則」（学会ホ

ホームページ <http://www.jams-web.jp/download/jams-kenkyuuhappyou.pdf>) に従って運営しています。口頭発表を申し込まれる前にご確認ください。なお、この細則は、大会委員会および大会実行委員会により運用されます。不明な点がございましたら、学会事務局へお問い合わせください。

■学生研究発表優秀賞について

当学会では、学生セッションの研究発表を審査して優秀な発表には「学生研究発表優秀賞」を授与しています。学生であれば、正会員・学生会員を問わず、学生セッションの研究発表は審査の対象となります。ただし、下記の点にご留意下さい。

- ・学生セッションの発表は、正会員との連名とし、ファースト・オーサーは学生とします。
- ・学生セッションでの単独発表は、正会員の学生に限ります。
- ・学生研究発表優秀賞の受賞対象者は、単独発表、連名発表のファースト・オーサーの学生のみとします。
- ・学生セッションの発表原稿は、会員の種別を問わず2頁とします。

2022年度第1回理事会のまとめ

- I. 開催日時：2022年5月21日(土) 10:55～12:05
- II. 開催場所：Zoom形式
- III. 出席者：椎原正次、上原衛、金子勝一、毛利進太郎、石田修一、今井正文、上西啓介、川中孝章、佐々木桐子、鄭年皓、田畑智章、長野寛之、林誠、柗紫乃、三森八重子、村山賢哉、柳田義継、稲永健太郎、奥井秀樹、近藤高司、今野勤、佐藤修、曾我寛人、谷崎隆士、東海詩帆、中井秀樹、永松陽明、成川忠之、西口宏美、深澤琢也、堀江育也、松岡公二、水上祐治、村山誠、藪内賢之、山下洋史(監事) 塩出省吾、松丸正延 記録者：中井秀樹(敬称略)
- IV. 審議事項
 1. 2021年度第5回議事録の確認(柳田)：椎原会長より報告事項の繰越金の処理に対して電子論文投稿・査読システムに関する確認があった。特に異議なく承認された。
 2. 会員の入退会について(柳田)：特に異議なく承認された。
 3. 第68回全国研究発表大会の準備状況について(永松)：今大会の準備状況について説明され、特に異議なく承認された。
 4. 第69回全国研究発表大会について(佐々木)：今井理事より大会案内を行うJAMSニュースの発行時期について確認があり、実施時期などについてメールで予告を行うべきとの意見が出された上で特に異議なく承認された。また、上原理事より対面実施となる場合、所属大学方針などで参加できない場合や、状況の急変により対面実施ができない場合に備えたプランの必要性について意見があった。また曾我大会実行委員長より、準備状況についての説明が行われた。
 5. 第43回通常総会議案書について(柳田)：通常総会議案書について説明され、特に異議なく承認された。
 6. 役員選出委員会の設置について(椎原)：役員選出委員会の設置が提案され委員長に柳田常任理事が就任することが承認された。次回理事会までに柳田委員長が委員と立会人の候補を選出することになった。
 7. その他①会員情報更新について(柗)：会員情報更新のお願いと年会費請求の案内を別便で行う計画になっていたが、年会費請求の案内が遅れたので改めて検討した。上原副会長より予算の削減額も小さいことからリスクを低減する意味で予定通り別送する意見がだされた。審議の上、予定通り別送となった。
- V. 報告事項
 1. 評議員会について(椎原)：評議員27名に出席いただき、総会議案書の説明を行った後に、学会運営について意見を伺った。第4号議案の予算案について、今年度は赤字予算になっていることが質問され、40周年記念事業、役員選挙およびZoom利用の費用が必要であることを説明した。秋の大会についてオンライン開催か対面開催かについての質問があり、対面開催で進めていることを報告した。さらに、教員募集の広報についての質問があり、MLで会員に知らせることができるので、担当の広報委員会に確認していただくように説明した。
 2. 総会での役割確認について(柳田)：総会進行について、役割分担の確認と進行について説明された。
 3. 全国大会後に実施する学会員情報更新(郵送)について(柗)：資料の通り説明された。なお、今後組織委員会で確認し、若干の修正が行われる可能性があることもあわせて報告された。
 4. 日本経済学会連合創設70周年記念事業への寄稿について(椎原)：資料の通り論文が掲載されたことが報告された。川中常任理事より詳細な説明が加えられた。
 5. その他①年会費の支払い方法について(柗)：会費の支払い方法について確認があった。

第9期 日本経済システム学会 全国研究発表大会 プログラム

※学内に入られる際には、検温と手指消毒にご協力ください。また、学内ではマスクの着用をお願いします。

10月18(土)～ 最終日 10:00～《講師：慶應義塾大学IFセンター》

時間	会場	司会	講演者	講演題目	10:30～12:35 昼食(本学職員山教室～10教室・4号室)	12:45～13:00 休憩	13:00～14:00 午後の講演(山教室)	14:00～14:10 休憩
10:30～12:35	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
12:45～13:00	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
13:00～14:00	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
14:00～14:10	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
14:10～14:40	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
14:40～15:10	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
15:10～15:20	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
15:20～15:50	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
15:50～16:20	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				
16:20～16:30	山教室	司会 佐藤 正	講演者 佐藤 正	講演題目 山教室				

時間	6分講 15分講 (一般/F 12分講)	5分講 9分講 (一般/F 12分講)	6分講 15分講 (学生/F 20分講)	5分講 9分講 (学生/F 20分講)	6分講 15分講 (学生/F 20分講)	5分講 9分講 (学生/F 20分講)	6分講 15分講 (学生/F 20分講)	5分講 9分講 (学生/F 20分講)	6分講 15分講 (学生/F 20分講)
16:30~17:00	明倉 構想設計学 相田 康雄 マルチプラットフォームにおけるRobotic Process Automation 利用の可能性 *城西国際大学 *慶應義塾大学 *京大 健一郎	明倉 豊弘法政大学 上原 新 産学連携による産地活性化 の取組み *秋田大学 *益満 瑞	明倉 豊弘法政大学 永田 真明 スマートフォン利用を目的とした学習環境 構築の取り組み *立命館大学 *九州工業大学 *西田 聖人	明倉 豊弘法政大学 久保 直也 特許データに基づくソフトウェア技術の 特許出た適性分析 *日本大学 *日本大学	明倉 豊弘法政大学 高坂 一郎 伝導数値のクラスター分析による地域産業 政策立案の可能性と課題 *理教大学 *理教大学 *理教大学 *理教大学 *理教大学	明倉 豊弘法政大学 橋原 正次 社会福祉法人における顧客のセグメンテーション POC検証における顧客のセグメンテーション *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学	明倉 豊弘法政大学 橋原 正次 社会福祉法人における顧客のセグメンテーション POC検証における顧客のセグメンテーション *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学	明倉 豊弘法政大学 橋原 正次 社会福祉法人における顧客のセグメンテーション POC検証における顧客のセグメンテーション *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学	明倉 豊弘法政大学 橋原 正次 社会福祉法人における顧客のセグメンテーション POC検証における顧客のセグメンテーション *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学 *東海大学
17:30~17:50	明倉 豊弘法政大学 本田 正美 SDG+における持続性キュリアン監査の基 礎 *慶應義塾大学 *本田 正美	明倉 豊弘法政大学 矢野 均 多目的ファンディング実行例ゲーム *名古屋国立大学 *矢野 均	明倉 豊弘法政大学 西田 聖人 個人・法人・地域を繋ぎ合わせる持続可能な交流 の発展的取り組み *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 山口 道晴 社会福祉法人運営者によるソフトウェア中心の 地域での経済産業ポテンシャル掘削におけ る地域産業構造と個別企業の関係 *日本大学 *日本大学	明倉 豊弘法政大学 山口 道晴 社会福祉法人運営者によるソフトウェア中心の 地域での経済産業ポテンシャル掘削におけ る地域産業構造と個別企業の関係 *日本大学 *日本大学	明倉 豊弘法政大学 山口 道晴 社会福祉法人運営者によるソフトウェア中心の 地域での経済産業ポテンシャル掘削におけ る地域産業構造と個別企業の関係 *日本大学 *日本大学	明倉 豊弘法政大学 山口 道晴 社会福祉法人運営者によるソフトウェア中心の 地域での経済産業ポテンシャル掘削におけ る地域産業構造と個別企業の関係 *日本大学 *日本大学	明倉 豊弘法政大学 山口 道晴 社会福祉法人運営者によるソフトウェア中心の 地域での経済産業ポテンシャル掘削におけ る地域産業構造と個別企業の関係 *日本大学 *日本大学	明倉 豊弘法政大学 山口 道晴 社会福祉法人運営者によるソフトウェア中心の 地域での経済産業ポテンシャル掘削におけ る地域産業構造と個別企業の関係 *日本大学 *日本大学
17:30~18:00	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析	明倉 豊弘法政大学 丸山 宏 TOSファミリアの顧客改善の計画 *愛知産業大学 *丸山 宏	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学	明倉 豊弘法政大学 原水 薫 青山学院大学 高谷 敬 社会的シェアリングと顧客改善の要因分析 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学 *立命館大学

経営モデル研究部会のお知らせ

開催日時：2022年9月3日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOMによるオンライン会議形式

<https://us02web.zoom.us/j/85377994431?pwd=a29YaEhWSkpDT1Niak1vSUJ3bTJDQT09>

ミーティング ID: 853 7799 4431 パスコード: 655488

発表予定者：

- (1) 「ニュースデータと機械学習による企業株式の予測モデル」
横溝 凱 氏（東海大学）、丸山 博之 氏（東京都立産業技術大学院大学）、田畑 智章 氏（東海大学）
- (2) 「TAR モデルを用いた Covid-19 による中国経済への影響分析」
劉 妹凝 氏（東海大学）、丸山 博之 氏（東京都立産業技術大学院大学）、田畑 智章 氏（東海大学）
- (3) 「実店舗と EC 店舗における併売パターンの比較」
高木 優津樹 氏（東海大学）、田畑 智章 氏（東海大学）
- (4) 「共分散構造分析を用いた日本企業における「知の探索」活動の規定因の抽出」
梶 祥太郎 氏（日本大学）、水上 祐治 氏（日本大学）

連絡先：田畑 智章（東海大学） TEL.03-3441-1171（代表）/E-Mail:tabata@tokai-u.jp

// 金子 勝一（山梨学院大学） TEL.055-224-1337/E-Mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/sectmm2022.html>

ニューノーマル研究部会（知的財産分科会）のお知らせ

開催日時：2022年9月17日（土） 14:00~15:30

開催場所：Zoom を用いて開催

講演タイトル及び講師：「ASEAN における知的財産制度の動向」

黒瀬 雅志先生（弁理士 黒瀬 IP マネジメント代表）

参加方法：以下の URL から出席可否の登録をお願いしております。

<https://forms.gle/7zEKUMaesFJuCUFQA>

参加登録者には後ほど ZOOM 招待状をお送りします。

※ご不明な点がございましたらご連絡ください。

連絡先（幹事）：三森八重子・大阪大学招聘教授 dt4y-mtmr@asahi-net.or.jp

ニューノーマル研究部会 2022 年度第 6 回会合（通算第 12 回）（知的財産分科会）

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/sectnn2022.html>

ヒューマンリソース（HR）研究部会のお知らせ

開催日時：2022年9月24日（土） 15:00-17:00

開催場所：ZOOMによるオンライン会議形式

発表予定者：調整中

連絡先（幹事）：金子勝一（山梨学院大学） Tel.055-224-1337 E-mail:kaneko.shoichi@c2c.ac.jp

研究部会 Web ページ：<http://www.jams-web.jp/information/secthr2022.html>



日本経営システム学会

住所 〒169-0073 東京都新宿区百人町 1-20-3 バラードハイム 703

TEL03-3371-5324・FAX03-3371-5185

E-Mail: keieisys@jams-web.jp